

2018年度 公認心理師養成大学教員連絡協議会 連携会議 議事録

日時：2019年 3月31日（日）14:00～15:00

場所：公益社団法人 日本心理学会 事務局

出席

公認心理師養成大学教員連絡協議会運営会議 日本心理学会資格制度調整委員会
丹野義彦，鈴木伸一，横田正夫，佐藤隆夫，箱田裕司，松井三枝、長田久雄，岩原昭彦，
小関俊祐，大月友

参加加盟団体（五十音順、敬称略）

産業・組織心理学会，日本応用心理学会，日本基礎心理学会，日本キャリア教育学会，
日本高次脳機能障害学会，日本交通心理学会，日本行動科学会，日本行動分析学会，
日本実存療法学会，日本社会心理学会，日本神経心理学会，日本ストレスマネジメント学会，
日本認知・行動療法学会，日本認知心理学会，日本認知療法・認知行動療法学会，
日本パーソナリティ心理学会，日本発達心理学会，日本ブリーフサイコセラピー学会

1. 加盟団体の確認

出席いただいた18学会および運営会議の参加者確認と自己紹介をおこなった。

2. 総会報告

2018年9月の日本心理学会大会時の総会について報告した。

3. 2018年度の活動報告

メールマガジン第1号にもとづいて、2018年度の本会の活動を報告した。

4. 公認心理師養成についてのアンケート

2018年に日本心理学会がおこなった公認心理師養成についてのアンケート調査について報告した

5. 公認心理師のカリキュラム標準シラバス

2018年に日本心理学会が公開した公認心理師大学カリキュラム標準シラバスについて報告した。

各学会で公認心理師カリキュラムやシラバス案を作成いただくことを依頼した。

産業・組織心理学会では、ワーキンググループを作り標準シラバスを作成し、

標準テキストも作成していることが報告された。

日本社会心理学会では「社会・集団・家族心理学」について検討していることが報告された。

日本発達心理学会でも「発達心理学」について検討していることが報告された。

6. 国家試験出題基準

公認心理師試験の出題基準について、各学会で検討し、学会案を作成したり、出題委員の推薦をしていただくことを推奨した。

7. 公認心理師の会との連携のお願い

各学会の研修会などの情報について、相互にリンクを張って連携していただきたい旨お願いした。

8. 公認心理師制度に関する各学会の取り組みと課題

各学会での公認心理師制度についての取り組みについて、各学会から報告があり、議論された。

日本神経心理学会と日本高次脳機能障害学会では共同で「臨床神経心理士」資格を準備中であることが報告され、公認心理師に神経心理学業務を普及させる良い機会であることが議論された。

9. 今後の連携会議の方向性と予定

2019年度の連携会議は9月の日本心理学会立命館大学大会中かその前後に開催される予定であることが報告された。

10. その他

公認心理師養成大学教員連絡協議会の略称を「公大協」としたいことが提案された。